

豊能町まち・ひと・しごと創生 総合戦略審議会が開催されました

日本は「人口減少時代」に入っています。その中で豊能町は、全国や大阪府よりも速いスピードで人口減少・高齢化が進んでいます。町では、平成28年3月に「豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「人口減少に歯止めをかける」「人口減少・超高齢社会に対応する」ための様々な施策を推進しています。平成29年度からは、「地域ぐるみの定住促進」「農×観光戦略」を重点項目として「地域再生計画」を策定し、国の交付金を活用して取り組みを進めています。



審議会では平成30年度に実施した取り組みや令和元年度の状況、最新の人口推計等を取りまとめた「豊能町人口ビジョン改訂骨子」等について審議がなされました。

※豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会は「産・官・学・金・労」の関係者により構成される町の附属機関で、総合戦略の策定や効果検証の審議などを行っています。

○地域再生計画による総合戦略の取り組みについて

地域ぐるみの定住促進

○ボランティアや情報発信に関する事業

- ・トヨノレポーター活動支援（交流会の開催、組織化に向けた活動支援）
- ・タブロイド紙の発行

トヨノPORTALの訪問回数は5.5万回を超えました！



○地域参画の仕組みづくりに関する事業

- ・トヨノドリームの実施・支援
- ➔地域による魅力づくりや課題解決にかかるプロジェクトを多面的に支援（古民家活用、多世代で楽しめるスポーツの開発、棚田を活用したアグリパーク構想づくりなど）
- ・女性活躍事業「とよのわたし研究室」の開催

わたしが変われば、地域が変わる。

とよのわたし研究室



- ・マルシェ開催支援
- ・トヨノくらし見本市の開催

○ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの開始

- ➔トヨノドリームから生まれた起業を資金面で支援

○住まいと暮らし多様化プロジェクトに関する事業

- ・異世代ホームシェア試行実施
- ・トライアルステイ（お試し居住）実施（4組参加し、うち1組は実際に転入、1物件は売買が成立）
- ・移住住み替え支援機構説明会の開催
- ・空き家の多目的利活用支援（トヨノドリーム事業として支援）



○「住まいの相談窓口」の運営に関する事業

- ・NPO法人との連携協定による空き家バンク、移住相談窓口の運営、セミナー開催

住まいの相談窓口

豊能町住宅流通促進拠点運営チャレンジショップ

平成30年度の空き家バンクでは18件のマッチングを行いました

- ・空き家等管理サービスの提供（有料）
- ・住まいの相談窓口、地域不動産事業者、町連名による固定資産税納税通知書を活用した空き家所有者へのPR
- ・空き家所有者に対するアンケートの実施

農×観光戦略

○農業法人設立に向けたチャレンジ

- ・農産物等直売所（志野の里）の運営
- ・供給安定化に向けたパイプハウス設置補助
- ・就業支援塾の開催



○地域による戦略事業の実施

- ・特産品ブランド化支援等

日本酒「右近」や「ヤーコン茶」など11品目が生まれています

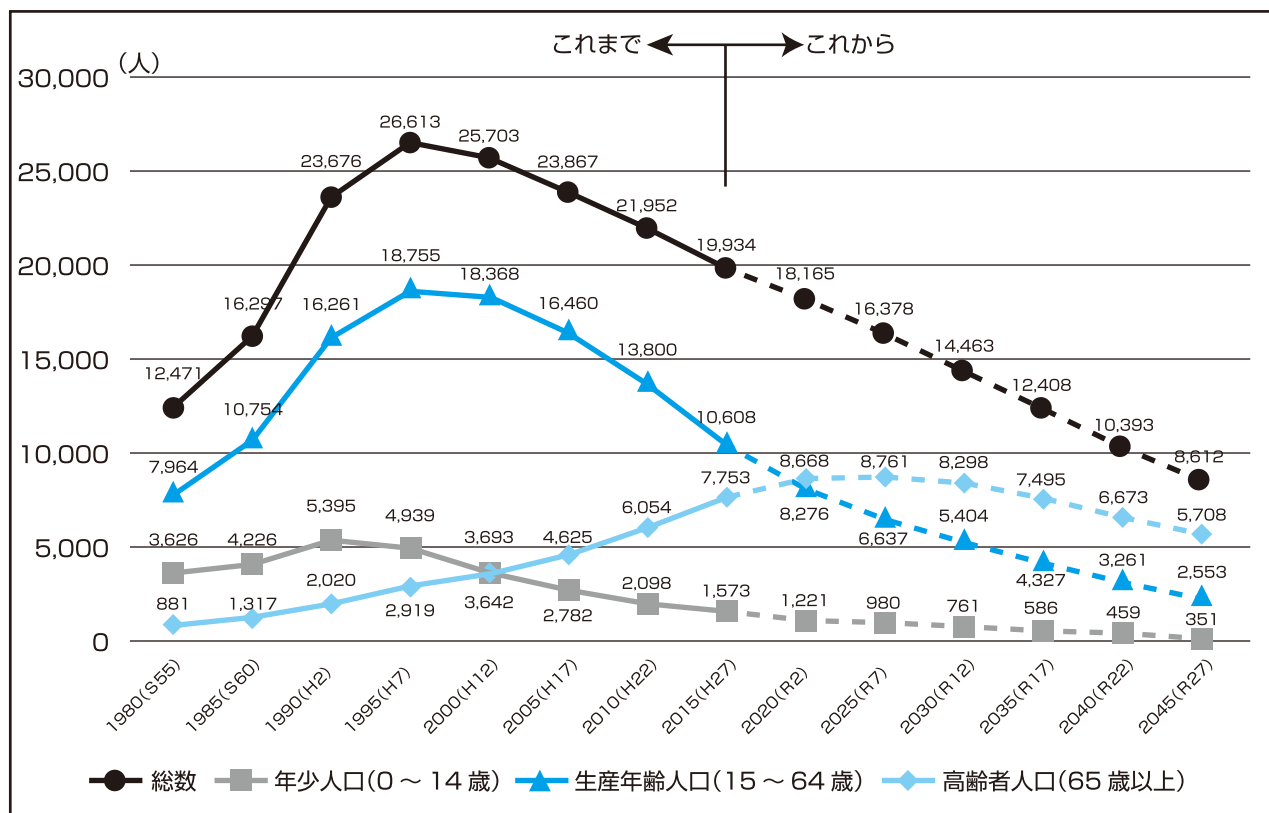
- ・地域による観光客誘致関連イベント実施補助

○農×観光戦略関係者のネットワーク化



審議会では、「地域の方々が個々にながらんでいるが、大きなうねりになっていない」「豊能町の人口減少推計は衝撃的だが、その中でもこんなふうに住らしていけるということを地域の人々に伝えていく必要がある」「インバウンドなどを活かし、交通体系も含めた観光の取り組みが必要」「地域産品を地域の人が消費できる場所づくりを」等の意見をいただきました。

○豊能町の人口推計（国立社会保障・人口問題研究所）



出典：2015(平成27)年までは国勢調査(各年10月)、2020(令和2)年以降は国立社会保障・人口問題研究所の2019(平成31)年3月推計。
総数は年少人口や生産年齢人口、高齢者人口の合計値で、年齢不詳は含まず。

- 総人口は平成27年からの30年間で11,322人の減少が見込まれ、令和27年には8,612人。(約57%減少)
- 高齢者人口：7,753人(2015年)⇒5,708人(2045年) 約26%減少の見込み。
- 生産年齢人口：10,608人(2015年)⇒2,553人(2045年) 約76%減少の見込み。
- 年少人口：1,573人(2015年)⇒351人(2045年) 約78%減少の見込み。

豊能町の人口は2005年にかけて、住宅地の開発による転入により急速に増加し、以降主にその子世代の転出が増加することで人口の減少と高齢化が進んでいます。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、総人口は2015年(国勢調査の年)から30年間で約57%減少と、半分以下となる見込みで、特に年少人口は約78%、生産年齢人口は約76%と大幅に減少する見込みとなっています。同研究所の推計では、国や大阪府の人口も減少すると見込まれていますが、豊能町の人口はそれよりも急速なスピードで減少する見込みです。

また、総人口における高齢者の割合(高齢化率)は、2015年は38.9%でしたが、2045年には66.2%と、約2/3を占める見込みとなっています。

○豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間延長について

現総合戦略は令和2年3月31日までの期間となっていますが、2年間延長し、次期計画は効果検証等を行ったうえで、「総合まちづくり計画」と一体的に策定します。

令和2年1月23日に開催された審議会にかかる資料等はホームページのほか、役場1F情報公開コーナー・秘書政策課、中央公民館図書室、吉川支所、図書館で閲覧することができます

問=秘書政策課 ☎739-3413